



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月22日

上場会社名 株式会社ヤマナカ 上場取引所名
コード番号 8190 URL <https://www.super-yamanaka.co.jp>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野 義久
問合せ先責任者(役職名) 取締役専務執行役員企画ユニット長 (氏名) 中野 雄介 (TEL) 052-413-7232
四半期報告書提出予定日 2024年7月23日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年3月21日~2024年6月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	20,970	△1.8	100	△1.0	125	△0.7	128	114.6
2024年3月期第1四半期	21,350	0.1	101	29.3	126	6.5	59	△6.2

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 82百万円(△50.5%) 2024年3月期第1四半期 166百万円(756.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	6.74	—
2024年3月期第1四半期	3.10	—

(注) 営業収益は、連結損益計算書の「売上高」と「営業収入」を合計して記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	41,067	17,286	42.1
2024年3月期	40,759	17,299	42.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 17,286百万円 2024年3月期 17,299百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	4.00	—	5.00	9.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年3月21日~2025年3月20日)

(％表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,000	△0.1	1,100	36.7	1,200	24.2	800	69.7	41.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期1Q	20,425,218株	2024年3月期	20,425,218株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年3月期1Q	1,435,099株	2024年3月期	1,435,099株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期1Q	18,990,119株	2024年3月期1Q	19,243,561株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 期末自己株式には、「株式給付信託(BBT)」に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2025年3月期1Q92,700株、2024年3月期92,700株)が含まれております。また、期中平均株式の算定上控除する自己株式には、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2025年3月期1Q92,700株、2024年3月期1Q92,700株)が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社としては約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続いている一方、資源価格や原材料価格の高騰、円安による物価の上昇、世界情勢の緊迫化など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

食品小売業界におきましては、エネルギー価格や物流コストの高騰、相次ぐ食品の値上げによる物価上昇や実質賃金の減少による節約志向が依然として継続しており、厳しい経営環境が続いております。

こうした状況のなか、持続的成長を確かなものにする為に、2027年3月期までの中期3ヵ年計画として「戦略の3本柱」を策定し、①既存ビジネスモデルの進化、②経営効率の向上、③イノベーションの創造に取り組んでおります。

既存ビジネスモデルの進化では、「勝ちパターンの横展開・経営資本の傾斜配分」を掲げ、生鮮強化型モデルを磨き上げ収益拡大店舗に経営資本を傾斜し、更なる進化を図ります。

店舗施策におきましては、2024年4月に大府店（愛知県大府市）、5月に小田井店（名古屋市西区）、6月に西枇杷島店（愛知県清須市）をリニューアルしました。生鮮・惣菜売場を拡大し、鮮度・品質・産地にこだわった商品を多数取り揃え、今まで以上に選びやすく、買い回りしやすい売場へと刷新しました。

経営効率の向上では、「経営資本の分配見直し」を掲げ、生産性の向上を進めます。

タレントマネジメントシステムを導入し、的確な人材配置や人材育成支援、従業員の目標管理など人材管理の効率化を行いました。

イノベーションの創造では、新たなチャレンジに経営資本を傾斜し、ビジネスチャンスの拡大を図ります。

商品施策におきましては、生鮮食品販売強化に加えて、当社オリジナルの「鶏ちゃん焼」や「漬けきはだまぐる刺身」、「麻婆豆腐の素」などの“ヤマナカ・フランテならではの商品”の開発・強化を行い、値入改善に取り組んでおります。

販売施策におきましては、「ヤマナカ公式アプリ」の新規会員獲得やアプリクーポン、雨の日スタンプカードなどの販促施策強化により需要喚起に努めました。

地域社会・環境施策におきましては、東山動植物園に引き続き、レジ袋収益金の一部を使用した寄付を行い、豊橋総合動植物公園（のんほいパーク）において「レッサーパンダ」の動物スポンサーに認定されました。令和6年能登半島沖地震義援金募金として、店頭で実施した募金活動及び当社グループの拠出金合わせ総額25百万円を日本赤十字社へ寄付しました。また、地元銘柄肉や三河一色漁港直送の鮮魚、地元生産者が作った野菜・果物といった地元愛知県の商品を取引することによるフードマイレージの削減に引き続き取り組んでおります。あわせて、太陽光パネルの活用や店舗の改装などを機に冷凍ケースや空調の更新によるCO2排出量の削減、プラスチック製資材の使用量削減、食品リサイクルへの取り組みなど、地球環境に配慮した取り組みを継続しております。

以上のような施策の実践により、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高に営業収入を加えた営業収益は209億70百万円（前年同期比1.8%減）となりました。利益面においては、営業利益は1億円（前年同期比1.0%減）、経常利益は1億25百万円（前年同期比0.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億28百万円（前年同期比114.6%増）となりました。

なお、セグメント別の実績については、当社グループは「小売事業及び小売周辺事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億7百万円増加し、410億67百万円となりました。これは主に差入保証金が1億17百万円減少したものの、有形固定資産のその他（純額）が2億33百万円、現金及び預金が3億39百万円増加したことによるものです。

負債は前連結会計年度末に比べ3億20百万円増加し、237億80百万円となりました。これは主に賞与引当金が2億15百万円、繰延税金負債が1億円減少したものの、未払費用が4億90百万円、買掛金が2億17百万円増加したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ12百万円減少し、172億86百万円となりました。これは主に利益剰余金が32百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金が38百万円、退職給付に係る調整累計額が7百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、現時点においては、2024年4月22日公表の予想数値に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,762	4,102
売掛金	1,381	1,404
商品及び製品	2,599	2,678
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	49	46
その他	1,171	1,110
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	8,964	9,342
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,857	6,766
土地	13,108	13,108
その他(純額)	1,483	1,716
有形固定資産合計	21,449	21,591
無形固定資産		
借地権	230	226
ソフトウェア	433	389
その他	28	28
無形固定資産合計	692	644
投資その他の資産		
投資有価証券	3,670	3,612
差入保証金	4,231	4,113
繰延税金資産	20	24
退職給付に係る資産	1,413	1,428
その他	336	330
貸倒引当金	△45	△44
投資その他の資産合計	9,627	9,464
固定資産合計	31,769	31,700
繰延資産	25	23
資産合計	40,759	41,067

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,844	5,061
短期借入金	200	200
1年内償還予定の社債	1,350	690
1年内返済予定の長期借入金	1,930	2,214
未払費用	1,043	1,533
未払法人税等	413	132
賞与引当金	302	87
契約負債	1,457	1,383
資産除去債務	—	27
その他	1,488	1,584
流動負債合計	13,030	12,915
固定負債		
社債	1,745	1,570
長期借入金	5,301	6,085
リース債務	322	292
繰延税金負債	732	631
役員株式給付引当金	50	50
長期預り保証金	841	822
資産除去債務	1,333	1,310
その他	102	102
固定負債合計	10,429	10,865
負債合計	23,459	23,780
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,220	4,220
資本剰余金	6,538	6,538
利益剰余金	6,537	6,570
自己株式	△2,074	△2,074
株主資本合計	15,222	15,254
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,496	1,458
退職給付に係る調整累計額	581	573
その他の包括利益累計額合計	2,077	2,032
純資産合計	17,299	17,286
負債純資産合計	40,759	41,067

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年3月21日 至2023年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年3月21日 至2024年6月20日)
売上高	20,803	20,409
売上原価	14,837	14,488
売上総利益	5,965	5,921
営業収入	546	560
営業総利益	6,512	6,481
販売費及び一般管理費	6,411	6,381
営業利益	101	100
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	9	16
持分法による投資利益	2	2
情報提供料収入	15	15
その他	23	15
営業外収益合計	51	50
営業外費用		
支払利息	16	17
社債発行費償却	3	2
その他	6	6
営業外費用合計	26	25
経常利益	126	125
特別利益		
投資有価証券売却益	0	10
特別利益合計	0	10
特別損失		
固定資産除却損	4	10
減損損失	—	7
特別損失合計	4	18
税金等調整前四半期純利益	122	117
法人税、住民税及び事業税	61	73
法人税等調整額	1	△84
法人税等合計	62	△10
四半期純利益	59	128
親会社株主に帰属する四半期純利益	59	128

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年6月20日)
四半期純利益	59	128
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	113	△38
退職給付に係る調整額	△6	△7
その他の包括利益合計	106	△45
四半期包括利益	166	82
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	166	82
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2023年3月21日 至 2023年6月20日)及び

当第1四半期連結累計期間(自 2024年3月21日 至 2024年6月20日)

当社グループは、「小売事業及び小売周辺事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。